

## 別紙

### 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

株式会社 広島リサイクルセンター 久井工場

##### (2) 事業所の所在地

〒722-1303

広島県三原市久井町下津1126-9

##### (3) 業種

プラスチック成形材料製造業

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成28(2016)年度を基準年度とし、令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成28年度 (2016)	令和7年度 (2025)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	11,105.0	11,529.8 (3.8)	73000.0 34.3				
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン	25.30	26.3 (4.0)	17.12 32.3				
一酸化二窒素	8.26	8.7 (5.3)	7.79 5.7				
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	11,138.6	11,564.8 (3.8)	7,324.9 34.2				
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	令和5年度は、全ての項目において目標を達成することができた。						

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：処理量 (千 t)

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位(a)	目標年度 上段：原単位(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成28年度 (2016)	令和7年度 (2025)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	439.63	400.06 9.0	303.91 30.9				
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン	1.002	0.913 8.9	0.713 28.8				
一酸化二窒素	0.327	0.300 8.3	0.324 0.8				
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量	440.96	401.28 9.0	304.95 30.84				
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	160	145.60 9.0	126.7 20.8				
実績に対する 自己評価	令和5年度は、全ての項目において目標を達成することができた						

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	・LPG使用量を原単位で43.1%削減	・ボイラの燃焼管理の徹底 ・蒸気漏れ点検の徹底
		・軽油使用量を原単位で31.1%削減	・車両運転方法見直しによる燃費の低減 ・車両整備による燃費増加の防止
2	電気使用量の削減	・電気使用量を原単位で8.8%削減	・高性能インバータ機器の導入 ・高効率照明器具への更新 ・設備の運転方法見直し ・休憩時間の消灯の徹底 ・冷暖房温度の適正管理 ・省エネ型電気機器への更新
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の削減	・メタン排出量が原単位で28.8%削減	・市町村への原料品質向上の働きかけ ・選別作業の精度の向上 ・産廃廃棄物排出量の削減
		・一酸化二窒素排出量が原単位で0.8%削減	
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
	廃棄物排出量の削減	・産業廃棄物発生率が原単位で3.6%削減	・選別作業の精度の向上 ・新技術・設備での歩留り向上
		・コピー用紙使用量を原単位で14.8%削減	・両面コピー、裏紙使用の徹底 ・分別収集及び資源化の徹底
	工場外への排水量の低減	・リサイクル水使用量を原単位で30.0%削減	・冷却水の再利用 ・上水、工水使用量の低減

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。